

気候情報

2008年12月の日本の天候

- 北・東日本で顕著な高温
- 東日本日本海側で顕著な多照，北・東・西日本日本海側で少雪
- 北日本，東日本太平洋側，西日本日本海側で多雨
- 沖縄・奄美で顕著な少雨，多照

12月の天気概況

低気圧と高気圧が交互に日本付近を通過した。冬型の気圧配置となる日は少なく，全国的に天気は数日の周期で変わった。平年に比べ日本の東海上で高気圧が強くなり，日本海を進む低気圧や沿海州付近の気圧の谷に向かって，暖かい南風が入ったため，北・東日本では顕著な高温となった。冬型の気圧配置になる日が少なかったことから，東日本日本海側では平年に比べて晴れる日が多く，月間日照時間は，1946年の統計開始以来最も多かった。また北・東・西日本日本海側の降雪量は少なかった。低気圧がしばしば日本付近を通過したため，北日本，東日本太平洋側，西日本日本海側では多雨となった。沖縄・奄美では，大陸からの高気圧におおわれることが多く，顕著な少雨，多照となった。沖縄・奄美の月降水量は1946年の統計開始以来2番目に少なかった。

上旬：低気圧や高気圧が交互に日本付近を通過した。冬型の気圧配置は一時的で，全国的に天気は数日の周期で変わった。6日から8日にかけて，西日本を中心に強い寒気が南下し低温となったが，そのほかの期間は，日本海を進む低気圧や沿海州付近の気圧の谷に向かって，暖かい南風が入ったため，北日本中心に気温の高い日が多かった。なお，5日は寒冷前線の通過に伴い，東京都や神奈川県では竜巻が発生し，屋根瓦の飛散などの被害が発生した。

中旬：低気圧や高気圧が交互に日本付近を通過した。冬型の気圧配置となる日はほとんどなく，全国的に天気は数日の周期で変わった。寒気の南下は弱く，日本海を進む低気圧や沿海州付近の気圧の谷に向かって，暖かい南風が入る日があったため，全国的に高温となった。

下旬：低気圧が数日の周期で日本付近を通過した。前半は天気は数日の周期で変わり，日本海を進む低気圧に向かって暖かい南風が入ったため，東日本中心に高温となった。後半は，低気圧の通過後は強い冬型の

気圧配置となったため，日本海側や沖縄・奄美では曇りや雪または雨，太平洋側では晴れの日が多かった。
12月の気候統計

月平均気温：北日本と東日本でかなり高く，沖縄・奄美で高かった。西日本では平年並だった。

月降水量：西日本日本海側でかなり多く，北日本と東日本太平洋側で多かった。一方，沖縄・奄美ではかなり少なく，東日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

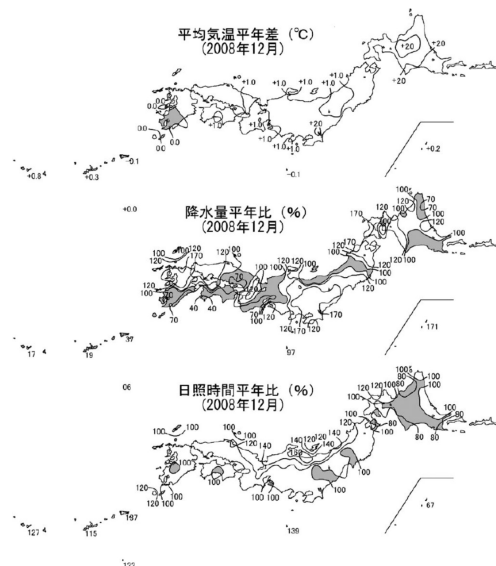
月間日照時間：東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く，東日本太平洋側と西日本で多かった。特に北陸地方では平年の140%以上となったところが多かった。一方，北日本太平洋側では少なく，北日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

12月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
相川 8.4
- ・月降水量多い方から（mm）
深浦 238.5
- ・月降水量少ない方から（mm）
南大東島 7.0
- ・月間日照時間多い方から（時間）
伏木 107.1 長野 182.7
高田 141.4 八丈島 141.4

2008年12月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は，平年より低い（少ない）地域を示す。